学校番号	3031

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 改訂版 家庭基礎　持続可能な未来をつくる						
副教材等	家庭科 55 デジタル＋　資料＋食品図鑑＋デジタルコンテンツ 学習内容のまとめと作業　改訂版 家庭基礎 学習ノート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活についてのさまざまな事象に関心をもち、課題を見出して積極的に取り組みましょう
・常に「あなたはどうですか？／ほかの立場のひとはどのように感じると思いますか？」と自問自答しながら学ぶようにしましょう。生活に対する価値観は多様です。教室で多くの仲間と共に学ぶということを活かし、他者が持つ異なる意見とたくさん出会うことができるように積極性をもって授業に参加し、自分の考えを深めていってください。
・ワークや実習を多く取り入れます。経験から感じたことを深めるように意識してください。
・私たちの暮らしは「ヒト」と「モノ・コト」で構成されています。共に暮らす人に合わせてこれらを組み合わせて生活を営みます。これを「生活マネジメント」といいます。この私たちの暮らしの構造を意識して、それぞれの学習内容を学ぶようにしましょう。
・“あたりまえ”と思って思考を止めずに、生活について文化的視点、科学的視点を組み合わせて考えていきましょう。そのためにも「好奇心」を大切にして家庭生活や社会の出来事にアンテナを張り巡らせておいてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容 （★はワークショップ）	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	A 人の一生と家族・家庭及び福祉	(1)生涯の生活設計 (2)青年期の自立と家族・家庭 ★「人生すごろく」（生涯を見通す） ★「これって家族？」（家族の定義を考える） ★「家族法クイズ」（家族について法律面から捉える）	a:人の一生について生涯発達の視点で見通すことの重要性を理解している。 b:ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察

		(3)子どもの生活と保育 (4)高齢期の生活と福祉 (5)共生社会と福祉 ★「運動機能の発達を並べてみよう」(カードを用いて発達の順序性を確認する) ★ゲーム型防災教育プログラム 「避難所運営ゲーム・HUG」 「避難行動訓練・EVAG」 「クロスロード」 (災害時のシミュレーションを通してダイバーシティについて考える)	a:乳幼児期の心身の発達と生活や高齢期の心身の特徴について理解しているとともに、乳幼児や高齢者と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 b:子どもの健やかな発達や高齢者の自立生活を支えるために、家族及び地域や社会の果たす役割ついて問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育や高齢期の生活や福祉について、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察
	B 衣食住の生活の自立と設計	(1)食生活と健康 ★「調理実習」(通年で2～3回程度を予定) ★「献立実習」(家族の状況を踏まえた献立の提案)	a:ライフステージに応じた栄養の特徴や健康や環境に配慮した食生活について理解している。また、食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、必要な技能を身に付けている。 b:食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察

	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト ★「ホームプロジェクトレポートの作成」(長期休暇中の課題として実施)	a:ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 b:自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、実践したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		レポート	振り返りシート レポート 観察
後期	B 衣食住の生活の自立と設計	(2) 衣生活と健康 ★「人類が初めて身につけたものは？」(被服の起源を考える) ★「1 枚の布」(着装の工夫について考える) ★「不感蒸泄の実験」(体験を通して衣服の役割を検討する) ★「被服実習」(被服の補修に関する技術習得を目的として簡単な小物を製作)	a:被服の機能と着装について、科学的な視点と結び付けて理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察

		(3) 住生活と住環境 ★「一人暮らしの家探し」（条件に合った住まいを見極める）	a:住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察
	C 持続可能な消費生活・環境	(1) 生活における経済の計画 (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境 ★「給料明細と家計の悩み相談」(収入と支出のバランスを考える) ★「エシカル・コンシューマーについてのミニ講義の作成」(行動や意識の変容を促す取組を考える)	a:消費生活の現状と課題、契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。 b:自立した消費者(エシカル・コンシューマー)として、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、自分や家庭や地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート	振り返りシート レポート 学習ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度